

## 統合後の学校の名称について

## 1. 学校の名称決定に関するスケジュールについて

学校の名称については、制服・校章・校歌・部活ユニホームなどを協議していくに当たり、初めに決める必要があります。また、今後児童生徒や保護者への説明・周知をしていくうえでも、令和5年1月に開催を予定している第4回委員会におきまして、意見をとりまとめる必要があります。

## 2. 一時移転時の学校名称についてのメリット・デメリット

学校名 (案)	メリット	デメリット
① 西武	・仏子、野田、新光を包括する地区の名称とすることで、西武地区の学校であることが明らかとなる。	・一時移転時に現野田中学校を利用するので、一般住民が正しい避難場所を間違える可能性がある。(4年間)【委員意見】 ・野田中学校が吸収されたというイメージとなってしまう。【委員意見】
② 野田	・一時移転時の4年間、現「野田中学校」の表示がそのまま使えるため、経費の削減ができる。	・新校舎に移ったとき、所在地が野田ではないのに「野田」となることに違和感がある。【委員意見】 ・西武中学校が吸収されたというイメージとなってしまう。【委員意見】
③ 西武野田	・両校の名称が入ることにより、双方とも吸収されたとのイメージを払拭することができる。	・新校舎に移ったとき、名称の一部に「野田」がつくのは違和感がある。【委員意見】
④ ②または③の名称から西武へ変更	・一時移転時の名称変更による混乱を避けられ、最終的には西武地区の学校であることが明確にできる。	・校名を2段階で変更する場合、校名を入れているもの(制服・校章・校歌・部活ユニホームなど)は、再度変更が必要になり、経費がかさむことになる。
⑤ 新名称	・既存の名称に影響を受けない。	・地区との関係が明確ではない名称となった場合、地域とともにある学校を目指すことが伝わりにくくなる。

### 3. 再検討した事務局案

事務局としては、地域とともにある学校を目指すことから、今後実施される市内の学校統合においては、各地区の名称を学校名に使用していくことを原則としていきたいと考えております。したがいまして、西武地区の中学校についても、仏子、野田、新光を包括する地区の名称である「西武」としたいと考えております。

なお、今回の一時移転という状況を踏まえ、地域の皆様の様々な懸念を払拭するとともに、混乱が生じないように統合後の名称について周知徹底を図ってまいります。また、両校の生徒の気持ちを大切に、新たな学校の歴史が作られるよう、生徒会活動や部活動による両校の事前の交流など、具体的な取組を展開していきたいと考えております。